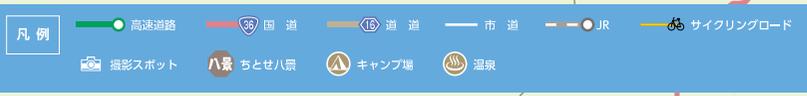


JR千歳駅周辺図

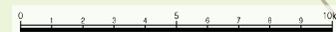


ちとせ八景 景観マップ



〈千歳市からお願い〉
ごみのポイ捨てや植生の損傷、路上駐車、私有地及び立ち入り禁止区域への侵入などの迷惑行為は、おやめください。

企画・発行
ちとせまちづくり実行委員会
千歳市企画部まちづくり推進課



北海道千歳市

千歳市は石狩平野の南端に位置し、国立公園の支笏湖や千歳川をはじめ豊富な自然に囲まれ、住環境と陸・空の交通アクセスや生活利便に優れた都市環境が調和する道央圏の中核都市です。まちの特性である新千歳空港を核として「交通アクセスの優位性」や良質で豊富な「水資源」、魅力あふれる「観光資源」などを生かしたまちづくりを進めています。

〈千歳の由来〉
昔の千歳は、アイヌの人たちの言葉で「シコツ」（大きくなば地または谷という意味）と呼ばれ、シコツには多くの鶴がいたことから「鶴は千年、亀は万年」の故事から「千歳」と命名されました。



①泉沢向陽台の桜並木
千歳駅から車で20分



②王子製紙千歳第一発電所展望台
千歳駅から車で25分



③清流千歳川
千歳駅から徒歩で10分



④山線鉄橋と恵庭岳
千歳駅から車で30分



⑤丸駒温泉から望む朝陽
千歳駅から車で45分



⑥梅前山の花畑と支笏湖
千歳駅から車で45分



⑦石狩平野の夕映え
千歳駅から車で20分



⑧新千歳空港の夜景
千歳駅から車で10分

ちとせ八景

ちとせの魅力ある8つの美景を選定したものです

ちとせ レア・ビュー



極寒北海道でみる幻想的な「千歳・支笏湖氷満まつり」



一般車両に交わり住宅地の市道を走行する戦車



航空祭で空を舞う「ブルーインパルス」の曲技飛行



日本初の水中観望室からサケの遡上が見られる水族館

移りゆく千歳の景観



J R千歳駅 今昔

1926年に北海道鉄道札幌線（苗穂一沼ノ端間）の駅として開業しました。駅舎はこれまでに2度の火災を経て、現在の駅舎は5代目で、1980年の千歳線高架化の供用開始に合わせて、島式ホーム2面4線を有する高架駅となりました。



グリーンベルト 今昔

1942年から1949年に防火を目的として整備した広い路地です。現在では、8か所の広場があり、子どもから高齢者まで幅広い市民や観光客が自由にくつろぐことのできる憩い・遊び・集いの場として整備されています。



山線鉄橋 今昔

現在の橋は、1899年にイギリスから輸入され北海道官設鉄道第一空知橋として架けられた後、王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道）の「湖群橋」として支笏湖に移された北海道内で現在使用されている最古の鉄橋です。近代建築遺産として、市有形文化財に指定されています。



千歳神社 今昔

商売繁盛の守護神がまつられている神社です。1658年の弁天堂の建立にはじまり、思古津稲荷大明神をまつる稲荷社を経て、1917年に現在の千歳神社となりました。境内には「狛狐」がおかれ、支笏湖の伏流水が御神水「幸井の水」として湧き出ています。



インディアン水車 今昔

北海道庁初代水産課長の伊藤一隆がアメリカ視察で持ち帰った捕魚車の設計図より、1896年に千歳橋上流に設置された捕魚車にはじまります。翌年、現在の花園付近に移設され、多くの市民に「インディアン水車」と呼ばれるようになりました。



新千歳空港 今昔

1926年の村民の労力奉仕で整地した着陸場にはじまり、海軍や米軍の軍用飛行場に使用され、自衛隊機と民間機の共用飛行場を経て、1988年に民間専用空港として開港しました。国内初の半円周型ターミナルビルが開業するなど北海道の空の玄関として発展を続けています。

景観とは

私たちが生活している環境は、「見る」ことによって評価される傾向が強く、「見える環境」の良さが生活空間の快適性につながっていると考えられています。「景観」は人々が目することのできる空間や眺めることのできる空間（見える環境）について言い替えた言葉です。良好な景観は、地域の個性や特色をわかりやすく特徴づけるものであり、人々の地域に対する愛着やふるさと意識を育み、また、潤いある魅力的で豊かな生活環境の創出に貢献するほか、観光をはじめ、国内や世界各地との交流を活発にする役割を担います。景観の維持・継承・改善するための様々な取り組みや、現代的で美しい景観の創造などを通して、自分たちのまちの景観の魅力を楽しみ、貴重な資産として次世代に残すことを「景観づくり」といいます。清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観づくりに貢献しています。

景観づくりの手法

まもる

自然や史跡などはそこにはかない守るべき重要な景観資源です。



ととのえる

今あるものを景観の視点でとらえ、整えることでいきいきした景観になります。



そだてる

時間をかけて育てるプロセスが美しい景観をつくります。



おおう

煩雑になりがちなものは補植などでおおうことにより、落ち着いた景観になります。



つくる

新しい価値でつくり出す景観は豊かな魅力を生み出します。



とりのぞく

景観を阻害する要素を取り除くことで、きれいな景観になります。



千歳市景観計画

景観づくりの方向性を示し、市民及び事業者と市が一体となった良好な景観づくりを推進し、誇りと愛着の持てる魅力あるまちの形成に資することを目的とし、「千歳市景観計画」を策定しました。千歳市景観計画では、地域の良好な景観を守り、創り、育てていくため、一定の建築物等に対して景観に配慮するよう誘導しています。

基本理念

- 大地の持つ美しい自然、風土、歴史を生かしまもる
- 千歳市の持つ特性、魅力を生かし、千歳らしさを創り出す
- 千歳市の美しい景観をまもり、育て、つくり引き継ぐ

ちとせ景観マップとは

千歳の景観をわかりやすくお伝えし、みんなで協力して景観づくりに取り組むきっかけづくりになることを目的として、景観講座に参加された方々の意見を参考に、市民活動団体と市の協働事業として作成したものです。

景観講座開催事業

この事業は、「みんなで進める千歳のまちづくり条例」による市民協働プロモーション事業として実施（運営）しています。

企画・発行

ちとせまち魅力検定実行委員会
千歳市企画部まちづくり推進課